地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く！

今月の担当は
幸田隊員です！

こんにちは。地域おこし協力隊の幸田大史です。
先日の台風怖かったです。枕崎に来て一番枕崎を体感した気がします。

久しぶりに木口屋集落にあるNPO法人自然花について書きます。

今年はコロナの影響で自然花で行われる体験活動やイベントは少なかったですが、自粛期間を終え、最善の注意を払いながらも徐々に体験活動なども始まっています。そして、その他にも色々と計画が進み始めています……！

シンボルの改修

自然花では、東シナ海が見える見晴らしの良い場所にある広場でいつも親子での体験活動を行っているのですが、その広場には大きなツリーハウスがあります。もともと耕作放棄地を体験できる広場に整備していた頃、集落の方の提案で大きなエノキの木を切らずにツリーハウスとして活用することにしたようで、今では自然花のシンボル的存在になっています。

この建物は、子どもたちが遊んだり、親子の憩いの場所になっている場所ですが、現在老朽化が進んでいるため改修工事に取り掛かっています。野外にある建物なので劣化が早く、木の成長に合わせて数年ごとに柱を変えないといけないなど、割と手の掛かる建物です。改修により、今以上に楽しく安心して使える場所になればと思います。

枕崎の新しい魅力に

ツリーハウスの改修に加えて、今回、新しくツリーハウスにウッドデッキを併設する計画を立てています。今でもツリーハウスの周りに小さなウッドデッキスペースがあるのですが、今回そのスペースを拡大し、休憩したり遊んだりできる場を広げる予定で、完成は12月から来年1月頃になりそうです。

ウッドデッキを作ることで子どもたちの体験活動の場が広がるのはもちろん、その他にもイベントの開催や交流の場などさまざまな場面で活用していく計画です。屋外ののんびりできる場所、最近は案外そういった場所は少ないので、新しい魅力になるのではと思います。

現在自然花ではツリーハウス周辺の環境を整備したり、クラウドファンディングでウッドデッキ整備のための費用を募ったりしています。

今年は、コロナの影響で例年に比べてお出かけする機会があまりなかった方も少なくないと思いますが、完成したらぜひ一度、広場まで足を運んでください！よろしくお願いします！

市長コラム vol. 20

知識と知恵

現代は一人一人がいろいろな情報に簡単にアクセスできるようになり、さまざまな知識を身に付けることができます。テレビ、ラジオ、新聞、雑誌が情報を入手する手段の中心だった時代から今のネット時代、本当に手軽に情報が手に入るようになりました。多くの情報を入手できることにより、人々がさまざまな知識を手にすることが可能になったわけです。

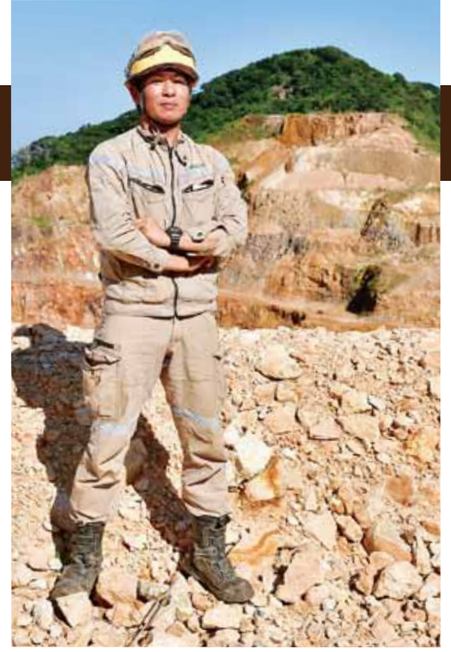
この「知識」と似た言葉で「知恵」という言葉があります。「知識」と「知恵」は似て非なるもの、とある本で目にしました。それによると、教わったり学んだりして身につけたものが「知識」。「知恵」は、その知識を実際の物事に生かすすべとでもいうべきもの。得た知識をどう生かすかが知恵の出しどころ、ということだと思います。

私は、想像力を働かせるということを事あるごとに職員に話しています。情報、知識を得て、そこからその先へ向けて想像力を働かせるために必要なものが知恵であり、さらには行動する際に必要なものが知恵であると感じます。

市民の皆様の声を聞く、つまり情報を知る、知識を得る。私たちの仕事は、そこから先が大事になってきます。得た情報、知識をさらにひとひねり、ひと手間、ひと工夫する知恵が必要とされるのです。得た情報をそのまま伝えたり、同意してそのまま自分の考えとして発信してしまったりすることがあります。そこには、その人(情報を手に入れた人)の価値は付加されません。その「知識」にその人の「知恵」を足すことで、その人の存在価値が付加されるわけです。ウィズコロナ、ポストコロナの時代、いよいよそのあたりの差、つまり知恵の出し方の差が表に出てくることになります。

知識だけで頭でっかちになることなく、知恵を働かせて行動を起こしていこうと思っています。

枕崎（まくざき）×人（ひと）×仕事（しごと）　No.8



崎山　智彦（ともひこ）さん　(27)

春日鉱山株式会社 / 春日町

「枕崎×人×仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。
今月は、春日鉱山株式会社を取材しました。

日本には今でも金を産出する鉱山が5カ所（いずれも鹿児島県）あり、そのうち2カ所が本市にある春日鉱山と岩戸鉱山です。その2カ所の鉱山を操業する春日鉱山株式会社には、約30名の社員が勤務しており、その一人が鉱務主任として働く崎山智彦さんです。

薩摩川内市出身の崎山さんは高校卒業後、福岡の大学で鉱物、石油、地熱、太陽光エネルギーなどの地球資源システム工学について学びました。サークルの活動では、国内のさまざまな山や海外のキリマンジャロなどを登山し、趣味の海外旅行でたくさんの国を訪れるなど、充実した学生時代を過ごしました。また、インターンシップ（職場体験）でインドネシアの鉱山を訪れ、仕事の規模の大きさと自然を相手にすることの面白さを学びました。

海外で働ける仕事に就きたいと、大学を卒業後、春日鉱山の親会社であるJX金属株式会社に就職し、東京での勤務を経て、今年の4月から春日鉱山に出向で来ました。現在は採掘計画の作成や操業管理、保安に関する業務を行っています。地面に空けた穴に爆薬を装填することもあるため、体も使う仕事ですが、いろいろな人と協力しながら一つの仕事を一緒にできることがこの仕事の面白さだと話します。

春日鉱山では、銅の製錬に必要な珪酸鉱の採掘を主な業務として行っています。採掘した珪酸鉱は細かく砕いた後、船で大分の製錬所へ輸送され、銅の製錬に使われます。また、その過程で珪酸鉱に含まれる金も抽出され、一つの収入源となっています。銅は携帯電話などのデジタル機器の部品として使われているため、私たちの生活には欠かせません。この仕事は、さまざまな人の生活を支える重要な仕事でもあります。

今後、転勤でチリの鉱山で務める可能性もあるという崎山さんは、「現場勤務は枕崎が初めてなので、まずは鉱山の基礎をしっかりと学び、世界中の鉱山で通用する技術者になりたい」と話します。

南冥館 イベント情報

開　9:00 ～ 17:00
※入館は16:30まで
休　毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問　TEL72-9998

抽象絵画の先駆者 ～山口長男展

1956年にベネチアビエンナーレに日本代表として出品するなど、日本抽象絵画の先駆者として国際的に活動した山口長男の展覧会を開催します。

南冥館の収蔵品の中から、油彩画、水彩画作品のほか、貴重な陶器の絵付け作品を展示します。

▲作品「赤い組立」

●**会期**　11月8日(日)～12月6日(日)
●**会場**　南冥館(第2展示場・市民ギャラリー)
●**観覧料**　無料

スズキコージの大魔法画展

第23回日本絵本賞受賞の「ドームがたり」(2017)や新作の絵本「そもそもオリンピック」(2020)の原画を展示します。アーサー・ビナード作スズキコージ画の作品です。

●**会期**　12月13日(日)～2月14日(日)
●**会場**　南冥館
●**観覧料**　無料